認定特定非営利活動法人
国際協力NGO・IV-JAPAN

2013年度事業報告書
Annual Report 2013

（2013 年 4 月～2014 年 3 月）

【主な事業内容】

（1）奨学金支給事業

●**実施期間**：通年
●**資金源**：IV-JAPAN
●**事業実施地**：タイ王国、ラオス人民民主共和国
●**現地協力機関**：＜タイ＞IV-JAPAN タイ財団
＜ラオス＞IV-JAPAN ラオス事務所
●**支援対象**：経済的理由で就学が困難な青少年
●**主な活動内容及び成果**：タイではタイガールガイド連盟が支援する貧困家庭の小中学校の生徒へ、または法務省矯正局下の組織であるピブン福祉財団の協力の下、両親が受刑者のため経済的に困難な状況にある青少年を対象に奨学金を 40 名に支給した。また、ラオスにおいては主に当会の支援するビエンチャン都職業訓練センターの生徒を対象に 110 名に奨学金を支給した。

（2）ビエンチャン職業訓練上級コース・トレーナー養成事業（JICA 草の根パートナー事業）

●**実施期間**：2013 年 4 月～継続中 5 年間事業（2011 年 12 月～2016 年 11 月）
●**資金源**：日本国際協力機構（JICA）、IV-JAPAN
●**事業実施地**：ラオス人民民主共和国ビエンチャン都
●**現地協力機関**：ラオス教育スポーツ省、ビエンチャン都教育局、職業教育開発研究所
●**支援対象**：中学・高校などを中退した青少年や、中学・高校を卒業しても技術がなく起業・就業が難しい女性や青少年（15～40 歳）
●**主な活動内容及び成果**：

ⅰ．調理・美容・縫製の職業訓練実施

職業訓練上級コースを設置しているビエンチャン市内の 2 つの職業訓練校兼実地店舗（OJT ショップ）にて調理・美容・縫製の 3 分野にて職業訓練を実施。2013 年度は調理 22 名、美容 6 名、縫製 18 名の合計 46 名の訓練生たちが実際に一般のお客様を相手にサービスを提供し、OJT ショップを経営しながら、接客応対や店の衛生管理、経営基礎など起業・就業に必要な経験を積んだ。

ⅱ．　職業訓練校職員の能力開発

2016 年の事業終了後も現地協力機関職員が職業訓練校を当会の支援がなくとも自立して運営していけるように、協力機関職員の能力開発を実施。訓練計画の立案、予算計画、授業料の収支管理、インターンシップ提携先との連携、スタディツアー等の屋外活動の実施、成績評価、卒業制作発表会の運営など、日本人コーディネーターと現地職員が一緒に行い、健全な職業訓練校運営の仕組みを構築。すべてを盛り込んだ運営マニュアルを作成した。

ⅲ．　職業訓練上級コース教材開発

上級コースの教材作成。調理ではクッキー、美容はフェイシャルマッサージ・フットマッサージを追加。その他に基礎英会話、衛生管理、栄養の教科書を完成させた。既存の調理・縫製・美容の教科書及び経営基礎の教科書は更新中。

ⅳ．　地方職業訓練所のトレーナーの養成

将来的にラオス全国各地に設置される職業訓練所でトレーナーとなる人材を養成するため、ボリカムサイ県・ウドムサイ県・ルア

ンナムター県・シェンクアン県の県教育局を訪問。各県の教育局と現地職業訓練所の設置およびトレーナー養成計画について協議し、各県のトレーナー候補者をビエンチャン都の職業訓練所へ訓練のために派遣することを約束した。また、上級コースを修了した訓練生 9 名を対象に成人教育トレーナー養成研修を実施し全員が修了。うち 2 名がビエンチャンの職業訓練校のアシスタントトレーナーとして新しく配置された。地方の職業訓練所ではボリカムサイ県に 3 名の（調理、美容、縫製各 1 名）のトレーナーが配置された。

（3）ナーサイトン郡職業訓練事業（外務省 NGO 連携無償資金協力事業）

●**実施期間**：2013 年 10 月～2014 年 3 月（3 年次）*3 年間事業　継続中　2014 年 10 月終了予定
●**資金源**：日本国外務省 NGO 連携無償資金協力、IV-JAPAN
●**事業実施地**：ラオス人民民主共和国ビエンチャン都ナーサイトン郡
●**現地協力機関**：教育スポーツ省、ビエンチャン都教育局、ナーサイトン郡教育課
●**支援対象**：中学・高校などを中退した青少年や、中学・高校を卒業しても技術がなく起業・就業が難しい女性や青少年（15～40 歳）
●**主な活動内容及び成果**：前年度に引き続き、調理・縫製・美容分野で 2013 年 11 月から第 5 期初級コース（2 ヶ月）、1 月から第 5 期中級コース（3 ヶ月）の職業訓練を実施。海外（日本・タイ）専門家及び国内専門家による短期集中トレーニングを行い、調理分野では日本人調理専門家指導の下、地元にある 3 つの日系工場への昼食ケータリングサービス（2 日間合計 60 食）を行い、日本料理のスキル向上、経験蓄積につながった。理美容分野では訓練生の技術向上と地域への貢献、及びナーサイトン職業訓練センターの知名度向上のために、郡最北部の小学校 2 校を訪問し、ヘアカット専門家の指導の下、生徒 93 名に対しヘアカットサービスを無償で提供した。また、分野別のスタディツアーを実施し、起業した卒業生、ラオス人専門家の経営する店舗や資機材購入先等の見学、当団体がビエンチャン市内 2 カ所で実施している、上級コースの実地訓練（OJT）の見学を行い、訓練生らに起業・就業に有益な情報を得る機会を提供した。プロジェクト終了後のラオス政府機関へのハンドオーバーに向けて、熟練した技術を持つトレーナーの育成、ナーサイトン郡教育課に対する運営・管理能力の強化を行った。

（4）青少年の収入向上のための木工職業訓練（JICA 地域経済活性化特別枠）

●**実施期間**：2014 年 3 月～継続中　*3 年間事業
●**資金源**：日本国際協力機構（JICA）、IV-JAPAN
●**事業実施地**：ラオス人民民主共和国ビエンチャン都
●**現地協力機関**：ラオス教育スポーツ省学校制度外教育開発センター
●**支援対象**：定職が無く、職業訓練を受ける意思がある青少年（15～40 歳）
●**主な活動内容及び成果**：埼玉県と協働し、ラオスの貧しい青年男女の経済的自立支援のために、職業訓練（初級・中級・上級）によって木工技術の習得及びトレーナー養成を行い、併せて埼玉県の木工専門家派遣・ラオストレー

ナー訓練生の埼玉県での研修などを通して埼玉県木工産業界の活性化を図る。2013 年度は既存職業訓練所の改築を進めた。

（5）教育支援事業

●実施期間：2013 年 4 月～2014 年 3 月
●資金源：高岡万葉ロータリークラブ
●支援対象： ボリカムサイ県パカディン郡学校制度外教育センター
●主な活動内容及び成果：ボリカムサイ県パッカディン郡の職業訓練所に設備支援を行った。訓練生が職業訓練を受けるのに必要な機材として、ミシン 6 台、その他教材資機材を贈与した。

（6）ミシンローン事業（職業訓練縫製分野修了生開業支援）

●実施期間：通年
●資金源：高岡万葉ロータリークラブ、その他
●支援対象：縫製分野の職業訓練技術を持ち、起業・就職に
際しミシンを必要としているラオスの女性及び青少年
●主な活動内容及び成果：職業訓練所縫製分野修了生を対象に、開業に必要なミシン等を購入するため、少額融資を 4 名に行った。

（7）マイクロファイナンスローン事業（職業訓練理美容及び縫製分野修了生開業支援）

●実施期間：通年
●資金源：夢屋
●支援対象：職業訓練上級コース修了生
●主な活動内容及び成果：理美容分野上級コース卒業生 1 名、縫製分野卒業生 1 名合計 2 名に対し、年利 4%で 2 年以内に返金するという条件の下 400 万 kip の貸付を行った。職業訓練所理美容及び縫製の上級コース修了生を対象に、開業に必要な資機材購入のために、少額融資を 2 名に行った。

（8）小学校校舎増築及びトイレ設置事業

●実施期間：2013 年 4 月～2014 年 3 月
●資金源：さいたま国際交流協会（SIA）、IV-JAPAN、水と大地と緑の会
●事業実施地：ラオス人民民主共和国シェンクアン県
●現地協力機関：シェンクアン県教育局
●支援対象：シェンクアン県ベーク郡ナムトム村、ナムトム小学校
●主な活動内容及び成果：シェンクアン県で、教室が不足しており、雨漏り等により劣悪な校舎である小学校を選定し、増改築を行うことで、より良い教育環境の整備を支援した。また、学校に水道及びトイレの設備が無いため清潔な水が飲めない、手を洗う事が出来ない、女子生徒の出席率の低下をもたらすなどの状況を改善するため、小学校にトイレの設置を行った。

（9）シェンクアン職業訓練所建設準備事業

シェンクアン県における貧困住民の生活向上に資するため、職業訓練所を建設し、調理・縫製・理美容の技術を習得することで収入向上を図る。伊藤裕子基金より建設資金をシェンクアン県に年度末に先払いした。実際の建設は 2014 年度 4 月から開始される。

（10）台風「ヨランダ」によるフィリピン被災地緊急支援事業

●**実施期間**：2013 年 11 月 21 日～12 月 17 日
●**資金源**： IV-JAPAN
●**事業実施地**：フィリピン共和国セブ島州北部ダアンバンタヤン町及びメデリン町
●**支援対象**：セブ島州北部の被災住民（約 300 名）
●**主な活動内容及び成果**：2013 年 11 月にフィリピンを襲った超大型台風ヨランダによって、セブ島などでは大きな被害を受けた。当会はセブ島在住の日本人やフィリピンのボランティアを中心に被害の大きかったセブ島北部で、車による巡回炊き出しを行い、約 4000 食を被災者に配布した。

（11）IV-JAPAN フィリピン事務所開設

●**実施日**：2014 年 1 月 1 日
●**事業実施地**：フィリピン・セブ州マンダウエ市
●**主な活動内容及び成果**：IV-JAPAN は従来のラオス、タイでの開発支援に加え、毎年、フィリピンでは大きな被害をもたらしている自然災害に対応するため、フィリピン弁護士を所長に IV-JAPAN フィリピン事務所を 2014 年 1 月に開設した。同事務所はフィリピンで法人格申請中。緊急支援を行うため、政府･企業･NGO 連携組織ジャパン・プラットフォームに加入申請を行い、2014 年 4 月に承認される予定。

（12）第 17 回ラオススタディーツアー

●**実施期間**：2013 年 10 月 26 日～11 月 4 日
●**事業実施地**：ラオス国ビエンチャン、ルアンパバン、タイ北部チェンマイ、チェンライ、ランプーン
●**主な活動内容及び成果**：公募した成人会員など 8 名の参加者を得て、ラオスを通して途上国の実情を知り、当会のプロジェクトを理解してもらうため、現場視察や国際交流等のスタディーツアーを実施した。

（13）文京学院大学インターン受入

●**実施期間**：2013 年 8 月 9 日～9 月 6 日
●**資金提供源**：文京学院大学
●**事業実施地**：ラオス
●**主な活動及び成果**：文京学院大学から 2 名の学生が約 1 ヶ月滞在し、職業訓練上級コース（OJT 店舗）の生徒達への英語レッスンのサポートや日本文化紹介を行った。また OJT の生徒達からはラオス料理やラオススカートの縫い方、ラオスの伝統的なヘアスタイルセットやメイクアップを教わり、日ラオ文化交流・相互理解に努めた。

(14) IV-YOUTH による活動

●**実施期間**：通年
●**事業実施地**：日本国内
●**主な活動内容及び成果**：グローバルフェスタジャパン 2013、国際フェア 2013 等に出店し、ラオス雑貨の販売と広報活動を行った。

(15) ラオスジャパンフェスティバル　日本文化の紹介

●**実施期間**：2013 年 11 月 4 日～11 月 9 日
●**事業実施地**：ラオス
●**主な活動内容及び成果**：日本大使館、日本人会、日本商工会、日本 NGO 共催で文化会館にて開催。当会では職業訓練上級コースの生徒たちが出店し、日本食や手作りの手芸品を販売した。また、花嫁の内掛け衣装と花婿の和服で、着付けショーを行った。